

2008年度事業報告書

財団法人 関西盲導犬協会

I. 管理部門

(1) 総務

① 会員

2009年3月末の総会員数は1426件（新規入会数は114件、退会数65件）であった。個人情報保護規程に則り、3年間会費未納者を退会扱いにしたため、2007年度の会員数に比べると大幅な減少となった。

各会員の詳細は次の通りであった。

- a. 維持会員（会員数377件／前年比6件減／会費納入率78%）
 - ・ 継続257件／新規36件／1年未納58件／2年未納26件
 - ・ 退会13件（自主退会1件／3年未納12件）
- b. 賛助会員（会員数918件／前年比38件減／会費納入率75%）
 - ・ 継続628件／新規61件／1年未納160件／2年未納69件
 - ・ 退会43件（自主退会6件／3年未納37件）
- c. 青少年会員（会員数50件／前年比10件減／会費納入率72%）
 - ・ 継続29件／新規7件／1年未納8件／2年未納6件
 - ・ 退会4件（自主退会0件／3年未納4件）
- d. 法人会員（会員数55件／前年比7件増／会費納入率71%）
 - ・ 継続32件／新規7件／1年未納11件／2年未納5件
 - ・ 退会2件（自主退会0件／3年未納2件）
- e. 後援会員（会員数26件／前年比3件減／会費納入率69%）
 - ・ 継続15件／新規3件／1年未納5件／2年未納3件
 - ・ 退会3件（自主退会1件／3年未納2件）

② 募金箱

- a. 2008年度募金箱回収状況は以下のとおりであった。
 - ・ 2009年3月末設置店舗数1238件（新規設置167件・引上55件）
 - ・ 回収件数621件（直接回収490件・振込回収131件）
 - ・ 回収金額9,269,163円
（直接回収6,189,687円・振込回収3,079,476円）
 - ・ 回収金額前年比144%
（直接回収前年比127%・振込回収前年比196%）
- b. 個人募金箱
個人募金箱の2009年3月末の振込件数は55件で、金額は282,238円であった。
（2007年度振込件数59件、金額277,914円）

③チャリティグッズ販売

- a. 2008年度37件のイベントに出向き、チャリティグッズの販売を行った。
- b. 2008年7月にグッズ担当者としてパート職員1名を採用し、在庫管理および販売管理を徹底した。
- c. 理事1名を担当者として、その理事を中心にクイールの会メンバーとグッズ企画委員会を設け、グッズの企画および販売における方針を検討した。
- d. 美術工芸品の販売を下記のとおり実施した。

2008年4月29日オープンデー

2008年8月30日クイールの会懇親会

2008年12月1日ー7日ギャラリーヒルゲート

④三菱 UFJ NICOS マスターカードについて

三菱 UFJ から、会員数が少なく収益が上がらないとの理由によりカード契約解約の申出があったため、それに合意した（2008年10月1日）。

それにもない利用者にその旨を通知し、カードの終了および他カードへの切り替え等をお願いした。

2008年度のニコスカードによる収益は、42,087円であった。

⑤「クイールの会」との連携について

クイールの会が街頭募金を実施、その収入3,094,845円の寄付があり、それをリタイア犬医療費補助金および育成委託金2頭分に充当したとの報告がなされた。

(2) 新公益法人対策

①移行準備

2009年1月に、京都府との個別相談を行った（2008年度第3回理事会・評議員会報告済み）。

②規程の整備

2008年度は下記の規程制定および定款案の作成を行った。

コンプライアンス宣言／コンプライアンス行動基準／規程等管理規程／文書等管理規程／リスク管理規程／ボランティア規程／財団法人関西盲導犬協会における苦情・相談等解決に関する規定（改正）／個人情報保護規程（改正）／安全衛生管理規程／安全運転管理規程／防火防犯管理規程／災害時対応規程／宿直規程／パソコン使用規程／ホームページ運用規程／著作物貸出規程

II 事業部門

(1) 盲導犬育成事業

①繁殖

- a. 2008年度の繁殖状況は以下のとおりであった

・パピーウオーカー委託数58頭

・パピー出産頭数34頭（うち30頭をパピーウオーカーに委託）

・他協会から譲り受けたパピー28頭

受け入れの詳細は、北海道盲導犬協会11頭／栃木盲導犬センター9頭／

中部盲導犬協会 4 頭／九州盲導犬協会 3 頭／台湾導盲犬協会 1 頭

・繁殖犬総数 29 頭（オス 12 頭／メス 17 頭）

うち新規繁殖犬登録数 7 頭（オス 2 頭／メス 5 頭）

- b. A G B N (アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク) の実務担当者会議（4 回開催）に繁殖担当を派遣した。
- c. フィンランド盲導犬協会との繁殖交流（4 月・8 月に当協会職員派遣、11 月にフィンランド協会スタッフ招請）により、フィンランド協会から凍結精液オス 3 頭（ストロー 58 本）の凍結精液を 2009 年 1 月に導入できた。
- d. 犬の健康衛生管理の体制を整えるため、ハーネストレーニグセンター和室を繁殖室として改築した。また第 3 回理事会評議員会において 2009 年度に新犬舎増築が決議された。

②パピー

- a. 2009 年 3 月末のパピーウォーキングの状況は以下のとおりであった。
 - ・パピーウォーキング中のパピー 54 頭
 - ・新規パピーウォーカー 16 件
- b. 月 1 回の巡回指導及び訓練センターでのパピー講習会（9 回 56 家族参加）を実施した。

③訓練

2009 年 3 月末の訓練犬数は 29 頭であった。

④盲導犬

- a. 2009 年 3 月末の実働盲導犬数 78 頭（ユーザー数 80 人）
- b. 盲導犬が十分のケアのもとに活動ができるよう体制を整えるため、当協会盲導犬ユーザーの会（つつじの会）の協力を得て、当協会評議員との共同研究と共同して、アンケートを実施した。アンケートに基づき、次年度に具体的な体制を整えることとした。

⑤キャリアチェンジ

2009 年 3 月末のキャリアチェンジ犬の状況は以下のとおりであった。

・2008 年度キャリアチェンジとして譲渡した犬 29 頭

⑥リタイア

- a. 2009 年 3 月末のリタイア犬の状況は次のとおりであった。
 - ・リタイア犬数 42 頭（譲渡 39 頭、飼養委託 3 頭）
 - ・2008 年度リタイアした犬 16 頭（うち繁殖犬 4 頭）
 - ・死亡したリタイア犬 8 頭
- b. クイールの会の協力を得て、リタイア犬の医療費およびリタイア犬の葬儀費の助成を行った。

(2) 視覚障がい者事業

①歩行指導

2008 年度は 15 頭の盲導犬を育成し、16 人の視覚障害者に盲導犬を貸与した。内訳は新規貸与者 7 名と代替者 9 名であった。詳細は以下の通りである。なおオーロラについては、前ユーザーの都合で若くしてリタイアしたため、代替犬として候補者に再貸与をした。そのためオーロラは 2008 年度の育成頭数に含めていない。

使用者証 No.	性別	都道府県	犬名	犬種	貸与日	新規／代替
7277	女性	広島県	オーロラ	ゴールデン	5月20日	代替
7278	男性	滋賀県	アイビー	ラブラドル	5月19日	代替
7279	女性	滋賀県	ウィット	ラブラドル	9月13日	代替
7280	女性	兵庫県	レイチェル	ラブラドル	9月26日	代替
7281	男性	兵庫県	ワック	ラブラドル	10月31日	新規
7282	女性	高知県	アリア	ラブラドル	11月 8日	新規
7283	男性	兵庫県	バッキー	ラブ×ゴールデン	12月 8日	代替
7284	男性	大阪府	ハリス	ラブラドル	12月26日	新規
7285	女性	兵庫県	エレン	ラブラドル	1月23日	代替
7286	女性	兵庫県	イクシー	ラブラドル	1月23日	代替
7287	男性	兵庫県	ポノ	ラブラドル	1月31日	代替
7288	男性	滋賀県	ダグラス	ラブラドル	1月31日	代替
7289	女性	大阪府	イリス	ラブラドル	2月28日	新規
7290	男性	京都府	エモル	ラブラドル	3月 6日	新規
7291	女性	京都府	ラム	ラブラドル	3月27日	新規
7292	女性	大阪府	クラッセ	ラブラドル	3月27日	新規

②フォローアップ

ユーザーに対して2008年度は121件（2007年度124件）のフォローアップを実施した。その内訳は、以下のとおりであった。

- ・定期フォローアップ 67件
- ・ファミリーリゼーション 6件
- ・共同訓練後のフォローアップ 23件
- ・犬の健康管理のためのフォローアップ 12件
- ・犬の問題行動のためのフォローアップ 13件

③新規希望者

2008年度の新規希望者に対する面接および体験歩行は次のとおりであった。

- ・新規希望者面接9件
- ・代替者面接8件
- ・盲導犬希望者体験歩行14件
- ・施設やイベントでの体験歩行9件

④視覚障害者を対象にした啓発活動

a. 岡山市、広島市、京都府下、計5カ所の会場で体験歩行を行った。

体験者2名から貸与申込があり、うち1名は2008年度に盲導犬を貸与した。

b. 「ハーネス通信」の展示・テープ・電子データ版を発行した。

c. 盲導犬育成委託事業および相談窓口設置状況を調査し、その結果報告を各都道府県・政令指

定都市・中核市の障害福祉担当部署に送付した。

(3) 相談事業

①苦情・相談件数を月毎にまとめ、第三者委員に報告した。

2009年3月末までの苦情および相談総数は65件、うち4件は対応継続中であり、詳細は以下のとおりであった。

- a. 苦情21件（内訳 職員対応2件、事務的ミス11件、その他8件）
- b. 相談41件（内訳 ユーザーからの受け入れに関する相談26件、その他15件）
- c. その他3件

②共同訓練途中に相談・苦情を受け付ける機会を設け、初期対応に努めた。

(4) 職員養成事業

①訓練士認定

全国盲導犬施設連合会の訓練士認定試験（2009年12月2日）に職員1名が合格し、訓練士の認定を受けた。（認定日は2009年4月1日）

②研修

a. 以下の研修会に職員を派遣した。

6月 国際盲導犬連盟職員研修（イギリス）

6月 日本盲人社会福祉施設協議会全国大会（山口県）

視覚障害リハビリテーション研究発表大会（宮城県）

11月 日盲社協リハビリテーション部会職員研修会（神奈川県）

2月 全国盲導犬施設連合会（北海道）

b. 全国盲導犬施設連合会の次の研修会に職員を派遣した。

10月 中堅職員研修会

12月 初任者研修会

(5) 協力支援事業

①つつじの会

つつじの会が主催する総会（5月）、学習会（9月・2月）、研修旅行（10月）、会報「グッド、グッド」の発行に協力した。

②ボランティア

a. パピー・リタイア・キャリアチェンジ・繁殖犬・「クイールの会」などボランティアとの連携を図った。詳細は次のとおりであった。

4月クイールの会総会

8月クイールの会懇親会

③他施設との連携

a. 京都府が実施する視覚相談会で体験歩行を行えるように働きかけた。

b. 日本網膜色素変性症協会、高知県盲導犬協会と連携し情報提供等、啓発活動に努めた。

④京都府内の視覚障害者施設

共催事業として「白杖安全デー」、「あい・らぶ・ふえあ」、「視覚障害者京都マラソン大会」の開催に協力した。

(6) 調査研究事業

当協会評議員・日本医療科学大学講師と、共同研究「盲導犬の機能に関する使用者への調査計画」として、盲導犬との生活に関するアンケートを実施した。（集計は2009年度に繰越）

(7) 啓発普及事業

①インターネットの活用

- a. 月毎のイベント情報とともに、3カ月に1度「ハーネス通信」の内容の一部をホームページに掲載した。
- b. 職員ブログを開設し、協会の情報をタイムリーに発信した。（1日平均40件のアクセス）

②積極的な支援の獲得

- a. 2件の企業の社員研修に協力し、支援に対する理解を求めた。
- b. 亀岡市の協力を得て、亀岡市総合福祉センターにコカコーラウエスト株式会社の協会支援自動販売機を設置した。2009年3月末までに、協会支援自動販売機は関西キリン・ビバレッジ、コカコーラウエスト、他社の合計33台となった。（寄付額計201,687円）

③一般市民を対象にした啓発活動

- a. 講演および実演は164件。うち42件をつつじの会を通じ盲導犬ユーザーに講演を依頼した。
- b. ビデオ・写真パネルの貸し出しは14件。
- c. 訓練センターの見学会は定例見学会を含め72件実施し、合計1432名人の参加があった。
- d. 「ハーネス通信」を季刊誌化し、4月・7月・10月・1月に発行した。
- e. 亀岡市地域交流事業として、4月にオープンデー（参加者580名）、11月に亀岡運動公園での実演・グッズ販売（参加者120名）を行った。
- f. ヒトと動物の関係学会第15回学術大会シンポジウムにおいて職員久保が「社会における盲導犬の役割」を発表した。

④視覚障害リハビリテーション関係者を対象にした啓発活動

- a. 京都府眼科医会主催のイベント、広島市総合リハビリテーションセンターでの体験歩行時に講演・実演を行った。
- b. 小学校からの講演依頼が年々増加していることから、つつじの会と共催し、小学生に向けた話し方学習会を企画した。
- c. 全国盲導犬施設連合会が実施した盲導犬啓発のためのキャンペーン（6月岐阜市）および「盲導犬情報」編集（9月・3月に発行）に協力した。

Ⅲ 整備

下記、設備等の整備を実施した。

- (1) ハーネストレーニングセンターの屋根補修（2,256,056円）
- (2) 食堂・ホールおよび事務室のエアコン交換（2,113,715円）
- (3) ハーネストレーニングセンターの和室改築（繁殖室）（1,568,183円）

(4) 食堂間仕切り (683,000円)

(5) ホール倉庫取り壊し (341,000円)

(6) 普通乗用車1台 (881,800円) ・軽乗用車2台 (2,170,118円)